



## 天国と浄土

お葬式の弔辞などで、亡くなった方のお孫さんが「天国から私たちを見守って下さい」と読んでおられるのをよく耳にします。

“天国”はキリスト教で使う言葉です。ふっと違和感を覚えます。仏教では、天国と申しません。仏さまのお国、極楽浄土へお帰りになるのです。いのち終えて往くところは、仏教徒である限り浄土でなくてはなりません。

キリスト教のある牧師さんが、冗談まじりに皮肉をこめながら言っておられました。

「日本で宣教を始めて、もうとっくに百年を越しましたが、さすがは仏教国、なかなか信徒が増えません。しかし、天国だけは日本を占拠しました」と。

恥ずかしいことだと思えます。仏教徒でありながら、天国と浄土の区別がつかないのです。それほど仏教が、一般市民の生活から離れてきた証左とも言えましょうか。

ご先祖を偲びそのお心を受け継ごうとするならば、どうか仏法聴聞に努めて下さい。

輪番 佐々木俊朗

# 愛 ふれま ごえ ラウド



に風邪をひかれた方はたくさんおられました。風邪をひかれた皆さん、もう具合はよくなったでしょうか。やっぱり人間身体が資本です。皆さん風邪には気をつけて下さい。私？私は大丈夫です。ほら、何々は風邪をひかないと言うでしょ。  
(山岸)

## ■みんなで一緒に御本山へ■

旭町の鍋谷ヒデさん、昨年身近な方を亡くされました。それ以来、新聞の死亡広告が目が止まり、毎日、毎日、様々な年齢の方が数多く亡くなられていることに気付かれたそうです。そのお話しを伺い、私自身「老少不足・死の縁は無量」と聞かせて頂きながら、つくづくわかっていることに気付かされました。来年は、そのお言葉を示して下さった蓮如上人の五百回遠忌が御本山ですとまります。その本山参拝を目標に新川町の金谷美江さんがリハビリを始められたそうです。できれば、一人でも多くの方と一緒に参りさせて頂きたいですね。  
(佐々木寛爾)

## ■風邪にはご用心■

今年は風邪が大流行しました。皆さんは大丈夫だったでしょうか。  
美原五丁目にお住まいの高橋吉広さんは、年末年始ご夫婦そろって風邪をひかれ、なにもできず、大変な思いをされたそうです。本当に憂ることしかできなかつたらしく、大変だったと思います。  
御門徒さんの中にも、高橋さんのよう

## ■息子のおかげで■

日吉町の水口さんの息子さんはラグビー部に入部されていて、この冬には全国大会に出場しました。私もテレビで見ましたので、その話にはすごく興奮しました。

水口さんは大阪まで応援に行かれたそうで、それについて私が「いい記念になりましたね」と話をすると「そうですね。息子の「おかげ」で観光もできました」とおっしゃいました。

この水口さんの、「あたりまえ」ではなく「おかげさまで」の気持ち、大切にしたいものです。  
(石黒)

## ■なれない仕事で■

宇賀浦町の藤田さんは、最近ご自宅でお仕事を始められました。「なれない仕事なので、時間の使い方がうまくいかなくて、体が大変なんですよ」とお忙しい中、いろいろとお話しをして下さいました。それでも朝早くにお参りさせて頂いても、いつもここにこししながら迎えて下さり、いっしょにお参りさせて頂いています。

# 春'97 俊ちゃんの ド〜ンと行ってみよう!!



藤田さんのやさしいお気持ち、その笑顔にいつも出ているようです。  
これからお忙しいでしょうが、そのやさしいお気持ちでお念仏の中に日暮らしをして下さい。  
(神田)

### ■家庭のまん中に仏さま■

本町にお住まいの石井真一さん。初めて月参りにお伺いしたとき、ひときわ目を奪われたのは、一間はある大きいお仏壇でした。お仏壇の前に座らせて戴き、おあかりを灯し香を供え読経を始めようとすると、「お寺さんが来られたよ」と、ご主人の掛け声。すると、奥の部屋からでしょう、ご家族の方々が仏間に集う足音が聞こえてきました。

お勤めを始めますと私の読経の声がかき消される程のご家族のお勤めの声が、私の耳に飛び込んできました。そしてご家族のお勤めの声に負けじと、私も更に大きな声を出し共々に清々しくお勤めさせて戴きました。

大変大きなお仏壇もさることながら、ご家族揃って大きな声でのお勤めとお念仏にもっと驚きました。ひと昔前ならごく普通に見受けられる光景でしたのに、最近はお仏壇に、ご家族一同が集う機会もすっかり減り、残念に思っておりました折、有り難いご縁にあわせて戴きました。

お仏壇の前に家族一同座らせて戴きお念仏を称える中に、亡き方々と交流し合える世界。そして家族の心が一つとなり絆を深めていく場所。子へ孫へと大切に伝えていきたいものですね。  
(黒田)

### ■負けてられません■

「私も九十歳になるんだよね〜」  
「えっ？九十歳なんですか!」  
東川町の鈴木さんのお婆ちゃんの一言に私はびっくりして聞き返してしまいました。とてもお元気で、まさか九十歳とは思っていませんでした。

「今ではひ孫が六人、あ、今年の夏にもう一人生まれるから七人になるんですよ。嬉しそうに教えてくれました。お部屋のカベには、かわいらしいひ孫さん達の写真が何枚もはってありました。」

「外にはあまり出掛けられなくなっただけ、家の中でいろいろ手伝いをしていっています。病気もあまりないです。ね〜」  
三十歳の時、ご主人を亡くされ苦労しながらも頑張ってきたという事、頭が下がります。

お参りをさせていただいていると、沢山の先輩の方にお会いしますが「元気だな〜」と感じる事が本当に多くあります。若いはずの自分が、いつのまにかパワーをもらって、元気にしてもらっているようです。私も負けてられません。  
(小笠原)

### ■飛べ大空へ■

松陰町の鷺田幸雄さんは、おもちゃの機関車を作っていらつじやいます。おもちゃといっても、石炭のエンジンで本物のように動くんです。

しかも子どもを三人も育て、完成するのに一ヶ月くらいかかるそうで、二十年前からいろんなものを作られています。機関車の他にもヘリコプターが十台くら



輪番のごあいさつで開会です。

# 仏教婦人会 新年会 スナッフ集

1月16日(木)本堂にて行われました。



和やかに、会話はすみました。





いあるそつで、こちらの方もちゃんと飛ぶんですよ。スゴイんです。私を暖かい南の国まで連れて行ってもらえないでしょうか。

この「お西さん」は隔月でご門徒さんに配布していただいています。日吉三丁目の堀としてさんもそのお一人。以前、住んでられた花園町をお願いしています。遠いところを本当にすみません。

あまり風邪もひかれないという堀さんの健康の秘けつは何なのでしょう？やはり「太極拳」を続けられていることでしょうか。実に若々しい「元氣おばちゃん」なのです。

花園町の松尾政治さんと、荻野敏さんの家の庭には、野鳥が飛んできてエサを食べられるように、「野鳥ハウス」とも呼ぶべきものが作ってあります。

読経後、お茶をすすりながら庭に目をやると、野鳥がちゃんと遊びに来ているのです。とっても風流なんですよ。

ところで、ウグイスやホトトギスは、まだ来てくれないのでしょうか。「ポーホケキョー」と春の訪れを早く知らせてほしいと思う今日この頃です。(石丸)

### ■仏法は聴聞にきわまる■

先日、亀田本町の山田鶴枝さんのお宅に伺った時、お勤めの後、おばあちゃんとお話ししていました。ポツンと一言「私もお寺に参らせてもらわないとねえ」とおっしゃられました。その時、おもわず私は「今は足元も悪いし、寒いし、もう少し暖かくなったら是非いらして下さいね」と言ってしまうました。

ところが、先日二月六日、七日に行われた利井先生の研修会におばあちゃんがいらしているではありませんか。私は、おばあちゃんが来てくれたうれしさと、自分の軽率な一言を悔いながらご挨拶しました。すると「私は初めてお寺に来て難しいことは何もわからないけど、先生のお話しはわかりやすくして有難かった」と喜んでおられました。

浄土真宗で大切なことは、真実のみ教えに会わせて頂き、阿弥陀如来様のお救いがこの私の為にあるのだということをお聞かせ頂くことです。「難しいこと」の分からない私であるからこそ、何度何度も聴聞させて頂くことがたいせつなんだなあ」とあらためて思わされることでした。

皆さまも是非、お寺に足を運ばれて下さい。(吉村)

### ■火の用心！カチカチ■

先日、富岡一丁目アパートが火事になったという記事を新聞で読み、おどろいていたら、そのアパートはご門徒さんの浜屋さんのお宅の前でした。月忌参りに行ったおりに、「なんともなかったですか？」とたずねたところ「私達は大丈夫です。でも、アパートの人が一人亡くなられたそうす」浜屋さんは三十年近く富岡に住んでいるそうですが、こんな恐ろしいことはなかったそうです。

よく、どろぼうはお金だけで、火事は全てをなくすと言いますが、お互いに火には気をつけていきましよう。(利国)

## 去る2月6日(木)・7日(金)の2日間、利井明弘先生を囲んでの研修会が開催されました。研修会終了後には懇談会が行われ、いろいろなお話しを伺いました。



素晴らしいお話しありがとうございました。



白熱した議論が交わされています



皆さんお疲れ様でした——カンパいで宴の始まりです



参加した方々も熱心に耳をかたむけました。



あったかいお鍋を囲んで話もはずみます



# 会岸彼期春

**日時** 三月十七日(月)～二十三日(日)  
●晨朝～朝七時より●速夜～昼二時三十分より

**講師**

大阪市光明寺

菅 純和先生

大阪市万福寺

寺本 正尚先生  
(三月二十一日～二十三日)

台町彼岸会…三月十八日(火)

十一時三十分より

※三月十七日(月)は輪番法話です。

※本院納骨堂及び台町墓地は、十七日(月)より二十三日(日)までお勤めを致します。

※二十日(木)はラムネとおだんごをご用意致します。どうぞご利用下さい。

法友会総会のお知らせ

日時◆4月16日(水)

常例布教終了後、3時頃より

場所◆内堂にて

※尚、当日年会費として2,000円を納入下さい。

## 乙女のつぶやき〈事務員便り〉

ご門徒の皆さん、西別院に女子事務員が三人いる事をご存じでしょうか？

お寺にいらした事のある方はもちろんご存じでしょうが、他の方はたぶん私たちの存在を知らないのでは……お寺に女の人がいるの？と思っている方は沢山いるようですが、私たちはこの「お西さん」1・2月号には恥ずかしながら、毎年載っているのです。気付いて下さっていましたか？

私たちは、それぞれに有り難いご縁で、この西別院に勤めさせて頂いております。私がこのご縁を頂いた時、「私は“OL”ではなく“TL”(テンプル・レディ)になるのね」と不安と喜びで胸がいっぱいになりました。そしてこの気持ちが、今でも続いております。

事務員は、いつもお寺の中にいるので、お寺にいらっしゃるご門徒の皆さん以外とは、あまり接する機会がありません。さみしい事です。でも、お名前だけは覚えております。新川町の松本さんはもちろん、七飯町の横路さん、時任町の岡川さん。お名前とお顔が一致しないのは申し訳ありませんが、私たちにとっては、皆さん有り難いご縁のご門徒さんです。

私たちはこうして、阿弥陀様の側で勤めることの出来るご縁を喜んでおります。ひとりでも多くのご門徒さんが、お寺に足を運んで下さったら、と思っております。私たち事務員はご門徒の皆さんに逢えることを楽しみにしております。

# 蓮如上人500回遠忌 参拝旅行

## 旅行日程〈予定〉

|     |                                      |
|-----|--------------------------------------|
| 4/4 | 函館空港より関西空港へ(13:30頃発)<br>京都市内観光、京都市内泊 |
| 5   | <b>本山参拝</b><br>片山津温泉(福井県)泊           |
| 6   | 吉崎御坊～千里浜～巖山<br>和倉温泉(石川能登)泊           |
| 7   | 庄川峡～白川郷<br>下呂温泉(岐阜県)泊                |
| 8   | 合掌村～日本ライン下り～明治村<br>名古屋市内泊            |
| 9   | 名古屋空港より函館着(12:30頃)                   |

〈詳細については西別院までお問い合わせ下さい。〉

### ◆期日◆

平成10年4月4日～9日  
6日間(5泊6日)

### ◆募集人員◆

80名

### ◆ご旅行代金◆

約160,000円



## ●毎週月曜日●

午後4時より8時までの好きな  
時間に2時間程度の練習

生徒募集

〈会場〉  
西別院会議室

〈講師〉  
白井 松子先生

〈会費〉  
月々2,500円

お問い合わせは西別院までお願いします。

書道教室

岐阜県  
高山市の  
真光寺から  
来ました。  
森下

本堂の雑記帳より

心  
の花束



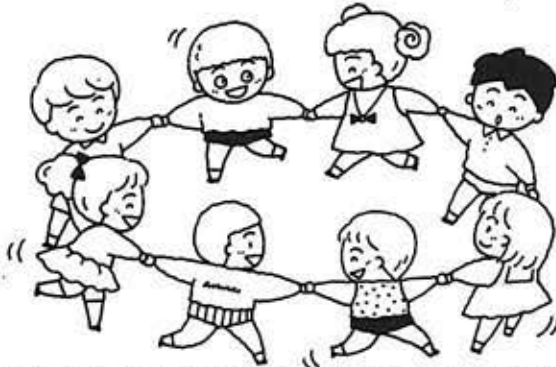
お念仏に  
生きて  
いますか?

平成9年2月9日(日)  
私たちは、岩手県から  
来ました。  
私たち10名です。  
私は2回目ですが、  
やっぱりはこだては  
一番です。またこようと  
思っています。  
では、またいつか  
会いましょう。  
ここはおてらとは思いませんでした。  
中に入ったら  
やっぱりお寺でした。



# ミッキークラブ

お母さんがお仕事を持っておられる方、急に一日用事で出かける方、安心してお出かけ下さい。ミッキークラブでおあずかりします。



**対象**

龍谷幼稚園生並びに  
2歳以上の弟妹

**担当**

古澤 妙子先生  
(元龍谷幼稚園主任)

お問い合わせは

龍谷幼稚園 ☎ 23-0274  
ミッキークラブ ☎ 27-4304

土曜の会へ行こう

●三月 後日連絡  
●四月 二十六日

会場 日吉町熊合宅にて  
お問い合わせ ☎ (0138) 54-6859

浄書(写経)の会

●三月 三日  
●四月 七日

お西さんテレフォン法話

24時間好きなときにいつでもどうぞ



0138 27局 2424番

- |                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| ●2月23日(日)~3月 1日(土)…吉 村   | ●3月30日(日)~4月 5日(土)…輪 番 |
| ●3月 2日(日)~3月 8日(土)…輪 番   | ●4月 6日(日)~4月12日(土)…利 国 |
| ●3月 9日(日)~3月15日(土)…石 黒   | ●4月13日(日)~4月19日(土)…輪 番 |
| ●3月16日(日)~3月22日(土)…輪 番   | ●4月20日(日)~4月26日(土)…神 田 |
| ●3月23日(日)~3月29日(土)…佐 々 木 | ●4月27日(日)~5月 3日(土)…輪 番 |

ようこそ常例布教へ

北見西組 一行寺

藤本 道樹 先生

上川北組 尊光寺

教重 文雄 先生

十一日 職員法話

十二日 布教使

十五日 輪番法話

十六日 輪番法話

(午後1時30分より)

※なお、毎月十六日は、十二時半より十六日会です。

おくやみ申しあげます。

永代経懇志  
ありがとうございました。

## 編集後記

▼一月は「行く」、二月は「逃げる」、三月は「去る」。昔の人はうまい事を言ったものです。

長かった冬も終わりに近づき、もう春がそこまで来ています。うかうかとしている間に時だけがどんどん過ぎていきます。実は私の命もそうなのです。

わかっているつもりなのですが、これがなかなか…。 (小笠原)

▼「冬来たりなば春遠からじ」といいますが、北海道にいと、春を遠く感じます。今年は暖かいお正月でしたが、まだまだ雪は降り続ける様子です。とは言いながら、もうお彼岸を迎えます。

お墓に降り積もった雪も、春の日射しに照らされて、だんだん溶けてゆきます。私のかたくなな心もそうなってくれるといいのですが…。

さて、彼岸の布教には、大阪より楽しい二人の先生をお呼びしております。ぜひお参りして下さいね。

(石丸)



# 龍谷幼稚園 で〜す



みんなとても喜んでいました。

それから子ども達は、自分で作った鬼のお面を頭にかぶり、「鬼は外! 福は内!」と、家の中にある鬼と一緒に、自分のお腹の中にこっそりと隠れて住んでいる悪い鬼達も追い出しておおう!と、元気に大きな声で、力いっぱい豆をまきました。

お部屋に戻ってから子ども達は、「もう家の中にある鬼とお腹の鬼、出ていったよね?」と、満足そうに話してくれました。



## みんなで元気に鬼退治

大友 綾子先生

二月三日、節分。

この日はお遊戯室で豆まきが行われました。お遊戯室には天井から大きな鬼が吊るされており、いつもと違った雰囲気のお遊戯室に、子ども達は少し驚いたようで、中には恐がる子どもの姿も見られました。

この日は、これから幼稚園に入る新しいお友達も沢山遊びに来ていて、年長組の子ども達から手作りの鬼の「お面」と「ます」がプレゼントされ、

